

東京2020大会に関する北区の主な取組み

トップアスリートのまち・北区

北区には、日本のスポーツ競技力強化の拠点となるハイパフォーマンスセンター(味の素ナショナルトレーニングセンター及び国立スポーツ科学センター)や23区唯一の障害者専用のスポーツ施設である「東京都障害者総合スポーツセンター」があります。このような地域特性を活かし、「トップアスリートのまち・北区」のシンボルとしてふさわしい景観となるよう、愛称名「ROUTE2020[®]トレセン通り」周辺整備の実施、また、日本のトップレベルのコーチ・アスリートなどから直接指導を受けられる「トップアスリート直伝教室」等のスポーツ教室を開催し、区民の皆様の競技技術向上と、未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるよう、取り組んでいます。

※北区は公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)とのパートナー都市協定に基づき、オリンピック・パラリンピックと地域におけるスポーツ交流を通じて区民のスポーツに対する意識の向上を図ります。また、JOCが推進するオリンピック・ムーブメントを通じて、子どもたちに対するオリンピック教育や競技力の向上とスポーツの推進を図ります。



アスリート 手形モニュメント

味の素ナショナルトレーニングセンターに隣接する区立稲付西山公園に、モニュメントを設置しています。手形には合計26枚の北区ゆかりのアスリート手形が設置できる仕様となっています。



スポーツ大使

「トップアスリートのまち・北区」PRの旗手として、北区ゆかりのトップアスリートを「北区スポーツ大使」として任命し、北区の魅力を発信します。



上田 春佳氏

北区出身 2012年ロンドンオリンピック銅メダル(競泳女子400mメドレーレー)



高橋 勇市氏

北区在住 2004年アテネパラリンピック金メダル(競泳女子400mメドレーレー)



石野 枝里子氏

北区スポーツコンダクター(2014年～2017年) 2006年トリノオリンピック4位(スピードスケート女子チームパシュート)

フェンシング教室・車いすフェンシング教室

競技団体と連携して、教室を週1回程度開催し、日本代表選手輩出を目指しています。



ROUTE2020[®]トレセン通り関連事業

日本のトップレベル競技者のトレーニング施設がある西が丘からJR赤羽駅及びJR十条駅に通じる道路の愛称名です。「トップアスリートのまち・北区」のシンボルとして発信していきます。また、東京2020大会に関する都市装飾にも取り組んでいます。

北区スポーツボランティア

スポーツ現場におけるボランティア参加を推進します。また、養成講座を通して育成に取り組み、スポーツを通じた市民活動・社会貢献活動の活性化を図ります。



東京2020大会カウントダウンイベント

東京2020大会を記念し、競技体験やトップアスリートから直接指導を受けることができるスポーツイベントを開催しています。



ROUTE 2020[®]トレセン通り
Route 2020 Toresen-dori St.